

### 第3回横手市総合計画審議会会議録

日 時 令和3年3月4日(木) 18時00分～19時37分

場 所 横手市役所本庁舎「第一会議室」

**出席者 【委員】** 佐々木均委員、佐藤正弘委員、柿崎大二郎委員、高橋雅博委員、堀内勝彦委員、高橋幸雄委員、奥山和彦委員、岩根えり子委員、岡部宏哉委員、伊藤大介委員、佐藤実園委員、奥ちひろ委員(オンライン参加)、北野悟委員

**【市側】**

(事務局) 総務企画部長 村田清和、総務企画部経営企画課長 森田博範、同課課長代理 小田嶋あけみ、同課主査 大友孝之、同課主任 佐藤剛

**欠席者 【委員】** 眞壁聡子委員、奥山ひとみ委員、木村忍委員、高橋美鈴委員、鈴木百合子委員

---

#### 1. 開会 (18:00)

#### 2. 会長あいさつ

皆様こんばんは。今、森田課長からもお話がありましたとおり2月16日開催の予定でありましたが、3月ということになってしまいまして、特に皆様のお仕事の関係では決算期ということで、大変ご多用のところだったと思います。当審議会に出席していただいて本当にありがとうございます。3月ということで、本来であればさまざまな行事が盛大に行われる訳ですが、残念ながらまだ新型コロナウイルスが全国的に都会を中心にまだまだ猛威を振るっているということで大変皆様不自由な生活をなさっているかと思えます。高校の卒業式は終わりました。国公立大学の前期試験が2月26日あたりに行われたと思いますが、受験生は本当に大変だったと思います。これからは高校入試も始まると思います。それが終わってから中学校、小学校の卒業式と、なかなか制限された中での慣行ということで、卒業生の皆さん、保護者の方、先生方、大変だろうなと心を痛めておりますが、全国的な感染者数はどんどん減少しておりまして緊急事態宣言が解除されたところもたくさんあり、1都3県についてはまだもうちょっとですが、少しずつ明るい兆しが見えてきたかと思えます。何よりも当横手市では雪に閉じ込められていたところが、ここ数日は温かい日差しがさしてきまして、あともう少しということで明るい話題も見つけながらやっていきたいと思っております。

さて、委員の皆様のおかげをもちまして横手市の総合計画、それから第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略も事務局も大変がんばってくれまして最終案を出してくださいました。今日はそれにつきまして皆様に審議していただいて、順調であれば

## 第3回横手市総合計画審議会会議録

皆様全員にお集まりいただくのはこれが最終というふうになると聞いております。そういうことですので、気が付いたことはどんどん提案していただければ大変ありがたいと思います。どうか本日もよろしくお願いいたします。

### 3. 議事

#### (1) 第2次横手市総合計画後期基本計画（最終案）について

(事務局)

・【資料1】【資料2-1】【資料2-2】【資料3】に基づき説明。

～質疑応答～

(会長)

ありがとうございました。今回【資料3】については膨大な冊子になっておりますが、今の説明では、前回、第2回の審議会で皆様からご意見、ご質問があった点、それから、事務局並びに市役所内部でも揉んでいただいて気が付いたところ等をいろいろと修正をして【資料3】に反映しているという説明でありました。委員の皆様あらかじめお目通しをされていたかと思いますが、何か気が付いたところがありましたらお願いいたします。

(佐藤正弘委員)

指標の関係で感じたところをご検討いただきたいと思います。62ページのサブ指標の「市民1人/1日当たりのごみの排出量」というのがございます。ごみの総排出量は1人当たりの排出量に人口をかけて、365日をかけて出したものなんだろうと思うんですけども、基本的に同じ数値の指標になっているなと思ったんですが、総排出量と市民1人当たりいくら、どれぐらいの量と市民には同じ数字であってもわかりやすいと思いますので、これはこれでいいのかなと思ったのが1つです。

それから、もう1点が、101ページのサブ指標「自主運営組織数」というのが出てございます。前は「共助組織の数」ということで挙がっていたと思うんですけども、「自主運営組織」というのはどういう組織なのかというのが前段の「取り組み方針」「現状と課題」「施策の展開」の中では出て来なくてですね。「地域運営組織」という文言がそれに該当するのかどうかというところがわかりませんでしたので、ここをわかりやすくしていただければいいのかなというふうに思いました。

(会長)

ありがとうございました。第1点、62ページのごみの排出量の点ですけども1人当たりというのが非常にわかりやすいというご感想でした。それから、101ページの「自主運営組織数」が前は「共助組織数」というKPIだったけれども、このところがちょっとわかりにくいのではないかとのご心配です。これについて事務局いかがでしょうか。

(事務局)

「自主運営組織」については言葉の解説を入れるようにしたいと思いますがよろ

### 第3回横手市総合計画審議会会議録

しいでしょうか。

(会長)

わかりやすいように簡潔な解説がいいと思います。わかりやすい解説をこれから考えていただくと。ありがとうございます。

他に皆様いかがでしょうか。

事務局でもう少しこの部分を説明したいということがありましたらお願いします。だいぶコンパクトな説明だったので。

(事務局)

・【資料2-1】中、市において再検討し、変更した部分を説明。

(会長)

ありがとうございました。皆様いかがでしょうか。感想的なことでも構わないです。

(奥ちひろ委員)

皆さん、はじめまして。秋田県南NPOセンターの奥と申します。これまで2回の会議に、家族の事情と仕事が重なってしまったということで今回はじめての参加となりましたこと、本当に申し訳なく思っております。私は仕事でふだん地域のボランティア団体ですとかNPO法人の立ち上げの支援、運営の支援などさせていただいております。今、コロナでかなりの団体が活動休止、解散という状況に追い込まれています。これまで団体が支援していた市民の方がこの後、どうになってしまうんだろうというところが若干気がかりなところですが、それを踏まえてというところでもあるんですけども、総合計画後期基本計画の32ページ目に施策1があります。そこに本当にありがたいなと思うところではあるんですけども、社会全体での支え合い作り、ボランティア団体、NPOの役割がこれから必要になるということが書かれているところではあるんですけども、実際の取り組まれる施策を見たときに、これまで横手市さんのほうで支援されていたところからあまり発展していないのかなと言う感じがしております。今の活動者がだんだん活動できなくなってきているというのは、高齢化で若い人たちがなかなかそこに入ってこないということもあるんですけども、具体的にボランティアとか、NPOとかの活動を増やしたいとお考えになってくださっているとしたら具体的な施策の中にもそうした中身を入れていった方がいいのではないかなと思います。Y<sup>2</sup>ぷらざの3階に市民活動スペースがあるんですけども実際場所貸しという形で具体的な支援やコーディネートがされていない状況があるので、できればソフトの部分でも育成するような取り組みを入れていたほうがいいのかと思っています。関連すると「取り組み方針」の2番目のところに「サービス事業所や福祉施設など」と書いてはいるんですけども、例えば限定せずに広くさまざまな企業さんのCSR活動というところもありますので、あまり狭めずにさまざまなCSR活動を支援するような項目も入ってきてもいいのかなと感じました。

### 第3回横手市総合計画審議会会議録

(会長)

どうもありがとうございます。大変貴重なご意見をいただきましたけれども、これについては事務局いかがですか。

(事務局)

ご意見ありがとうございます。NPOさんが現在おかれている状況というのは私どもが推進していきたいという部分で、さきほどおっしゃっていただいた視点をしっかりともって施策に反映していかなければならないと改めて感じたところであります。実は3月議会を行ってございまして新年度予算等を審議していただいている最中ではありますが、さきほどおっしゃっていただいたようなソフト事業は現時点では、具体的な部分では入っていないと思います。お話にあった視点をもう一度市全体としてどうしていくべきかということをしかりと、この後に向けて検討してまいりたいと思っております。今、具体的にこちらの中に施策として新たに入れることができるかというところとちょっと厳しいものがあるんですけども、本日の審議会の中でいただいたご意見ということでこの後に向けてしっかりと検討させていただきたいというふうに考えております。それから、取り組み方針の部分でございますが、ここにつきましては対象を狭めないで、例えば企業のCSR的な部分も含めてというようなお話を頂戴いたしました。大変ありがとうございました。地域貢献だったり、社会貢献の部分というのはそのとおりだと思います。大変申し訳ございません。今回この取り組み方針の「福祉施設など」のところにはまず含めさせていただくということで、しっかりと企業のCSRを推進するという部分につきましてもこの後の施策の中に重要な視点ということで取り込んでまいりたいというふうに考えておりますので、今は「など」というところに含めさせていただくというところでご理解をいただければ大変幸いだなと思っておりますがよろしいでしょうか。

(奥ちひろ委員)

ありがとうございました。

(会長)

どうもありがとうございます。今後、計画はもちろんですけれどもさまざまな場面で横手市の取り組みとして検討を続けていくということでどうかよろしくお願ひしたいと思います。ありがとうございます。

ほかに皆様いかがでしょうか。

内容にはぜんぜん関係しないところなんですけど、レイアウト的なことなんですけれども例えば「現状と課題」ですとか「私たちが協力できること」というところで黒丸がある訳ですけど、私の考えが古いのか、黒丸、白丸というと、相撲の黒星と白星を思い出してしまい、黒い丸だとマイナスのイメージがあります。私の気にしすぎかもしれないんですけども、例えば普通の白抜きの丸にするとか。そうするとレイアウト的に目立たないとか、ちょっとそのへんレイアウトを見ていただけるといいかなと思います。内容的には問題はありませぬ。いろんなものを評価すると

### 第3回横手市総合計画審議会会議録

き白丸だと良かった点、黒丸だと今後課題を要するとか悪かった点という感じで色分けしますよね。ちょっと思いついたので、検討していただければと思います。

皆様いかがですか。今日、ご欠席の委員の方からもご感想をいただいているということで、事務局にお願いしてよろしいですか。

(事務局)

本日、眞壁委員が欠席されているんですけども、欠席のご連絡をいただくにあたりまして、感想も一緒にお寄せいただきましたので、ご紹介をさせていただきたいと思います。「計画案については、内容はもちろん、表現や文言等の細部までご担当課において確認されたことがよくわかりました。計画の中には、市民が自ら率先して取り組むべきことも記されていますので、成案成立後はいかに広く周知し、実践するか、あるいはしてもらうかが大切だと思います。中身とは直接関係ありませんが、パブリックコメントが1件もなかったのが残念です。1月は雪のことがあまりに大変で、それどころではなかったということなのかもしれないというふうにも思いました」というようなご意見をお寄せいただきました。

(会長)

はい、ありがとうございます。眞壁委員、今日は所用がありまして欠席ということで、感想等お寄せくださいました。ありがとうございます。この冬は特別な冬ということで、普通の冬であればパブリックコメントをいただけたかもしれません。他に皆様よろしいですか。

(奥ちひろ委員)

後期基本計画の35ページ目の「子どもたちの豊かな心を育みます」というところについてなんですけど、ここはご相談というか、おそらく事務局のほうの学校教育に特化したいという思いもあるのかなとも思うので、もしかしたら半分ご相談というところも入ってくるのかなというところもあるんですけども。県の総合計画の委員とかやらせていただいて思うのが、学校を卒業してしまった後の若い人たちの支援となったときに、どうしても子育てというところに入ってこない対象になってこないなというところが気がかりでいます。今、人口減少が進んでいる中で、やはり昔ほど若い人たちが数いないので、同僚に若い世代がいなかったりですとか、昔あった青年団のように地域の若い人たちが集まって、そこで育ちあうような社会教育的な機会が少なくなってきたりしているなと考えます。そう考えたときに、横手を愛する心を育むというような取り組みが子どもたちの段階で終わらずに、例えば20代、30代くらいまで地域の中で継続していけるようなことがあったらいいなというふうに日々思っているところです。もしこの施策が学校教育に特化したところであると入れていくというのは難しいかもしれないんですけども、例えば対象にした生涯教育とか社会教育の中に入れていくことはできるとすればご検討いただければなと思いました。

(会長)

### 第3回横手市総合計画審議会会議録

どうもありがとうございます。おっしゃるとおり、子どもたちあるいは児童生徒たちが学校に所属している間はさまざまな支援、サポートができるわけですが、卒業してすぐ就職したり、別のところに進学したりという居場所があればいいんですけども、必ずしもそうでない若い方もたくさんいらして、という方々に日々奥委員のような方々が支援の手を差し伸べていらっしゃると思うんですけど、どうしてもそのところは弱いというのはあると思うんです。これについてどうしていくかというのは難しい部分があるかとは思いますが、事務局ではいかがですか。

(事務局)

施策の2-1は「教育」の面が強く出ております。大人になってからの地域とのかかわりという部分については、99ページになりますけれども施策6-1で、「市民が主体的にまちづくりの主人公となって、さまざまな課題に対し、みんなで語り合い、助け合い、支え合うことによって、市民主体による特色あるまちづくりが進められています」と「目指す将来の姿」になりますけれども、この中で地域活動に年代を問わずかかわっていくような施策を市として応援していきたいという展開になっておりますので、2-1のところでは書かれておりませんが施策6-1ではそういった面も含んだ内容になっているということでご理解をいただければと思いますが、いかがでしょうか。

(会長)

奥委員いかがでしょうか。今の説明に対して。

(奥ちひろ委員)

ありがとうございます。その文言をもとに市のほうで展開されているとすればありがたいなと思うところです。ただですね、おそらく若い人たちが集まって育ちあうという部分が必ずしも地域貢献型の市民活動とは限らないところがあるのかなとも感じますので、今後の課題としてできれば検討いただければうれしいです。

(会長)

貴重なご意見ありがとうございます。いろんなところに出て来れる積極的な方は大丈夫なんですけれども、いろんな事情で引きこもってしまうとか、大変な状況になってしまいがちな方もいらっしゃるということで、そういうところへの手立てというのもこれから意識して知恵を出し合って考えていかなければいけない、非常に大事な問題だと思っております。引き続きさまざまところで考えていくことだと思います。

(事務局)

承知しました。ありがとうございます。

(会長)

どうもありがとうございます。他に皆様いかがでしょうか。それでは後期基本計画の最終案については、このようなご意見も頂戴しましたが、全体としては委員の

### 第3回横手市総合計画審議会会議録

皆様の賛同を願えたというようなことでよろしいでしょうか。

(「はい」という声あり)

ありがとうございます。

#### (2) 第2次横手市総合計画後期基本計画(答申書案)について

(事務局)

- ・ 諮問内容と協議のポイントを説明。

～質疑応答～

(会長)

今、事務局から説明がありましたけれども、皆様に協議していただきたいのは2点ありまして、第1点目は、今了解いただきました後期基本計画の最終案が妥当であるかどうかということ。妥当だった場合、2点目ですけれどもその答申に意見を付ける必要があるかどうか。そういうことについて協議していただきたいということだったんですが、答申書と申しましてもいつも目にしていないので私も含めまして、馴染みがないという方もいらっしゃるかと思います。イメージしにくいということで、もし事務局で何か原案等ありましたら提示していただければありがたいと思うんですが。

(事務局)

- ・ 事務局案の資料を配布し、説明。

(会長)

はい、ありがとうございました。ただ今、事務局から示された案について説明いただきました。皆様にご協議いただくポイントとして2点ありまして、1点目の妥当かどうかということに関しましては、「おおむね妥当と認めます」という表現になっております。それから、協議の2点目ですけれども妥当と判断いただいた場合に、意見を付けるかどうかということだったんですが、下にありますように2つの意見を記しているという事務局のたたき台です。これにつきまして委員の皆様からご意見などございましたらお願いしたいと思います。いかがでしょうか。

(佐藤正弘委員)

文書を読んでまず第一に思ったことなんですけれども「おおむね妥当」という表現です。今まで2回の審議の中でいろんな意見を出して、それを事務局のほうできっちり受け止めていただいて修正するものは修正する。だけれども、こういう考え方だったので原案でいきたいといったところをきっちり出していただいたということで、修正しなかった部分も含めて理解できましたので、「おおむね」という表現ではなくて「妥当」という表現でも私はいいのかなと思ったのが第1点。もう1つ、附帯意見を付けるかどうかということなんですけれども、さきほどの眞壁委員さんからのお話にありましたように、計画を計画のままにするんじゃなくて市民に周知して着実に、いかに実践するか、実行するかということが大事だというふうに話

### 第3回横手市総合計画審議会会議録

されていまして、1番の「時代に即した実効性のある施策を進めていただきたい」という文言がありますので、眞壁委員の意見の趣旨にも合うというふうに思います。やはり計画を計画のままにするのではなくて、実行できるようなことを審議会としてもお願いしてはどうかと思います。あわせてやはり財政状況もあると思いますので、付帯意見の2というのはいいのではないのかなと思いました。

(会長)

どうもありがとうございます。ただ今の佐藤委員のご意見では、最初の表現ですが、これまで2回、それから今日も含めて委員の皆様大変熱心にご協議いただいたと。それについて、事務局のほうも、市役所の他の部門といろいろと連絡調整をしながら、かなり揉んできた内容で皆様のご理解を得られたということで「おおむね」というあいまいなことではなく「妥当と認めます」という表現のほうがよろしいのではないかと。それから、第2点目の協議の視点で意見を入れるかどうかということですがけれども、これはきちんとこの2点についてしっかりと意見を記して答申すべきであるというふうなご意見がございました。皆様それに関してはいかがなものでしょうか。

(「賛成」という声あり)

賛成というご賛同の声をいただきましたので、ありがとうございます。そういうことで「おおむね」というのを取りまして形を整えていただきたいと思います。ほかにごいませんか。別の点でもかまいません。文言のこういうところをもうちょっとというのがありましたらよろしく願いいたします。よろしいでしょうか。

(「はい」という声あり)

ありがとうございます。では「おおむね」というところを取った形での答申書を作成して送るということで皆さんからご了解をいただきました。

#### (3) 第2期横手市まち・ひと・しごと創生総合戦略(最終案)について

(事務局)

・【資料4】～【資料6】をもとに説明。

～質疑応答～

(会長)

皆様からいかがでしょうか。

(高橋雅博委員)

婚姻率の単位はどうなっていますか。

(事務局)

単位はついていませんでした。

(会長)

婚姻数÷人口×1,000ですね。

(事務局)



### 第3回横手市総合計画審議会会議録

指数的なもの。

(高橋雅博委員)

どれだけ婚姻しているか、わかるものですか。

(事務局)

計算式は、その年の婚姻数÷10月1日の人口×1,000。これが厚生労働省で示されている計算式です。

(高橋雅博委員)

人口推計でいくと令和7年度でこれくらい率があれば出生数もこれくらいになるでしょうという感じでしょうか。

(事務局)

逆算していくと。

(会長)

パーセントでもないでしょうね。人口当たりの何件結婚されたか。

(事務局)

婚姻率とは、「人口1,000人当たりの婚姻件数を指す」となっております。

(会長)

もし可能であれば簡単に説明書きを付けられれば市民の方がぱっと見たとき、人口1,000人いたらその中で何件結婚されたんだということがわかりやすいと思いますので、説明をちょっと考えていただければと思います。ありがとうございます。他にございませんか。市民の方がご覧になってわかりやすい計画がいいかと思っておりますので、お気づきのところありましたらお願いします。

(奥山和彦委員)

人口減少をなんとかしないと大変です。私は水道も関わっているけれども、(人口減少が進むと)たぶん浄水場が1施設いらなくなる状況にもなりかねない。

(奥ちひろ委員)

婚姻率、出生率の、結婚した、生まれたというところの数字だけ残っていて、環境面のKPIがなくなってしまうのがちょっと残念だなと思ってるんですけど、これはどういう経緯があったのでしょうか。

(事務局)

「男女イキイキ職場宣言を行った事業数」が無くなった経緯ですけれども、令和2年度でこの事業が終了になるということで、来年度以降の実績の取りようがないため削除させていただいたという経緯がございます。

(会長)

ということだそうですが。

(奥ちひろ委員)

ありがとうございます。いろんなところにまたがった話をしてしまいますが、よろしいでしょうか。

### 第3回横手市総合計画審議会会議録

(会長)

はい、お願いします。

(奥ちひろ委員)

ありがとうございます。私自身若い人たちの支援をしているところがあって、もしかしたら偏った見方をしてしまっているのかもしれないのですが、これから横手市に若い人にどんどん住んでいただいて、子どもも産み育てていただいてというところ、本当に強く思っていて、そう考えたときに、産み育てやすい環境を含めて作っていかないといけないと思うんですね。私、企業にも所属しているんですけども、育休を男性にもとらせたいと思いながら、なかなかそうはいかない事情が企業側にもあったりしているところも目の当たりにしていて、何かしら働きながら育てやすい環境みたいなのところも含めてKPI的にも落とし込んでいかないと、これって進んでいかない分野なのではないかなということを感じているんです。そこまで踏み込むのが例えば難しいとして、その次のページのところに「基本目標4」のKPIが「市に住み続けたいと思う市民の割合」があるので、例えば若い人が「子育てしやすいと感じていらっしゃるかどうか」というところもしっかり意見としてとっていくことで次の施策にも結び付いていくような気もしますし、KPIとして指標が変わっていくようなことがあるとすれば見やすくなるのかなと少し感じました。環境をうまく整えてあげるような取り組みを進めていかないとなかなか進んでいかないことなんじゃないかなと思ったのが1点です。

あとはまたがった話をしてしまうと行ったのは、25ページ、26ページ目の具体的な施策のところでも感じたところではあるんですけども、やっぱり若い世代がここでも抜け落ちてしまっているなと感じていて、例えば羽後町ですと若い人たちが中心になって人口減少対策をどういうふうに取り組んでいくのかということ考えた結果、若い人も含めて住み続けやすい地域づくりという観点から、さまざまな若い人の取り組みが生まれていったと聞いています。それに触発されるような形で、関係人口だとか、移住される方も増えてきていて、結果的に若い人たちがすごい活動をしている羽後町になっているというような現状があるところも見てるので、五城目もおそらく同じような感じだと思うんですけども、子育てだけではなく若い人たちが活躍できるようなこととかコミュニティづくりとかというようなところを変化していくことで最終的には人口が増えていったりということにもつながってくる強みになってくるんじゃないかなというふうに感じました。

何回も同じようなことを言っているような気もするんですけども、そこに強い思いがありまして改めて感じたことをお話しさせていただきました。ありがとうございました。

(会長)

大変貴重なご意見ありがとうございました。非常に大事な視点でのお話だったと思います。事務局いかがですか。

### 第3回横手市総合計画審議会会議録

#### (事務局)

毎年6月に総合計画の関係でまちづくりアンケートというものを、市民3,000人  
を無作為抽出して実施しているところではあるんですけども年代を限定して数値  
をどの程度拾えるか、意見の取り方は検討させていただきたいと思います。

それから、若い世代の方が活躍できるような事業については、担当課ともこれか  
らどういったことを検討できるかということもこの後、話をしていきたいと思いま  
す。来年度については、事業展開というのは想定されていない可能性がありますの  
で、そこらへんも含めて整理していきたいと思いますので、よろしく願います。

#### (事務局)

貴重なご意見ありがとうございました。まさにおっしゃるとおりなんだと思いま  
す。人口減少にあらがっていくための施策として「子どもを産み育てる環境をしっ  
かりと整えていく」という部分については、正しくこのとおりでありまして、例を  
申し上げますと、これまでも行っているんですけども三世帯同居の促進として、  
例えば近居するために新しく家を建てられるといったような場合に補助金を支給さ  
せていただく事業も行っております。これは、おじいちゃん、おばあちゃんが近く  
にいてお子さんを預けて、現役の皆さんはお仕事にといった、そういうこと  
に役立っているというお言葉をアンケートで頂戴しており、また、福祉医療費なん  
かも正しく子どもを育てるための環境促進ということで実施しているところであり  
ますが、まだまだ不足している部分はあるかと思っておりますので、しっかりと検討し  
て、次の施策につなげてまいりたいというふうに考えております。

それから、もう1つ若い人が住み続けやすいと、さきほど「関係人口」と「移住・  
定住」といったようなキーワードが出てまいりました。「関係人口」というのはご存  
じのとおり総務省が提唱されたキーワードでありますけれども、実は横手市はそれ  
よりも前に「応援人口」という形で実施しております。そういった「関係人口」の  
の方々を取り込んで地域の活性化に結び付けていこうということを取り組んでまい  
りました。来年度はその関係人口事業の深化ということで、もっときちんと地域の活  
性化に結び付けていくための事業にしていこうと、もう一度内容をしっかりと検討  
するため、東北大学のお力を頂戴して学生さんの力とおそらく横手市の若い方の力  
もお借りしながら事業展開をもう一度構築していく取り組みも現在検討している最  
中でございます。そういった意味でコミュニティー強化を目指した形の、さきほど  
いただいたご意見をしっかりととらまえながら事業に取り込んでまいりたいという  
ふうに考えておりますので、何卒よろしく願います。

#### (奥ちひろ委員)

ありがとうございました。

#### (会長)

よろしいでしょうか。どうもありがとうございました。

他に皆様からご意見、あるいはご感想でもよろしいですけれどもありましたらお

### 第3回横手市総合計画審議会会議録

願います。

(堀内勝彦委員)

感想でいいということなので、前段の基本計画からですが、大変ご難儀されて、こういった時期なのでどうしても計画自体が全体的にコロナ感染症に引っ張られて、現状の分析を出しています。これは致し方ないし、さきほどの答申の意見書にありますように、事業評価の中でも工夫して評価してあげれば指標が独り歩きしていくようなことでもいけないと思うんです。実績が出たか、出ないかということだけでなく、外部環境も十分取り入れながら評価していただければありがたいのかなと思います。ですから皆さんと審議した意義があるのかなと思います。

それから、直してもらった必要性はまったくないのですが、捉え方だと思うのですが、総合戦略の10ページの「最上位指標」がずっと前から気になっていたのですが、「人口減少が緩和されている」とありますね、その下に、「年齢構成が是正に向かっている」とあります。「是正」という言葉なんですけど、どこでも「是正」と使うんですけど、「是正」はなんか悪いことをしているような「悪かったのでよくする」というのが「是正」という言葉を使うんですが、適当な言葉か私わかりませんので、ちょっと気にかかって、じゃあこれを悪い見方をするとですね、年配者が全部いなくなればこれが「是正になるのですか」という話になってしまうので、そういう意味では誰も考えていなくてですね。たぶん、若い人を入れた人口構成が適正化になっているよということだとすれば、「是正」は「是正勧告」ですとかあまりいい言葉に捉えられないと思うので「最適化」とか、なんという言葉になるかわかりませんが、かえって市民の方に分かりづらくなるようであればよくないと思うので、これは感想ですので、指標ですから別にいいんです。あくまでも感想ということですよ。

(会長)

ありがとうございます。10ページの下の方の指標では大きい字で「是正に向かっている」とくるものですから、確かに今の年齢構成が悪いことなのかという感じになるんですよ。同じページでも一番上の本文の4行目だと「年齢構成を適正なものとするため」と書いています。まだ「適正」のほうが少し柔らかいかなとか。今の人口構成が間違いなく悪いことをしているのかという感じが確かにおっしゃるとおりありますね。ちょっとその辺、これからは細部に関しては事務局が検討しまして、皆様のご了解をいただきたいんですけど、最終的には審議会の会長が責任をもって、これでいいかどうかというのを、また細かいのが出てくる可能性もありますので、今後ちょっとそういうところを私のほうで必要があれば直ささせていただきたいと思っています。事務局も今のを参考に検討をお願いしたいと思っています。

(事務局)

はい、ありがとうございます。おっしゃるとおりでありますので。

(会長)

どうもありがとうございます。他に皆様ございませんか。そうすれば今回も有意

### 第3回横手市総合計画審議会会議録

義なご意見、ご感想をたくさんいただきました。それを生かしながら総合戦略につ  
きましても皆様のご理解を得られたということですのでよろしいでしょうか。

(「はい」という声あり)

どうもありがとうございます。それでは皆様のおかげをもちまして3つの案件に  
ついてはこれにて終了ということにしたいと思います。それでは進行を事務局にお  
戻したいと思います。

#### 4. その他

(事務局)

佐々木会長、どうもありがとうございました。その他ということで、委員の皆様  
から何かございますでしょうか。

(奥山和彦委員)

健康に気を付けて長生きするように。私はゴルフ場の社長もやっておりますが、  
ゴルフ場の構成年齢をみますと60～70歳が一番多くて、30、40はずっと下で、みん  
な上のほうがいなくなったからどうするのかなど。元気が何よりなので、いくらい  
い総合計画を作っても、一人だけではなんにもならないので、なんとか90歳でも元  
気でゴルフができるように、85歳くらいまでスキーができるようにがんばって、や  
はり元気でなければだめだということだと思います。何があっても元気であること。  
私も実は76歳です。歳がいくと何もやらなくなる。何でもやらないと。自転車も漕  
ぎますし。その代わり病気をしないように。スキーをやっても足を壊さないように  
して、ゴルフをやっても球をぶつけられないようにして。いくらかでも先延ばしし  
て。高速道路が4車線になるのも10年くらいはかかるので。インターチェンジを造  
るとき私も一生懸命頑張りました。スマートインターチェンジを造るのにも最初の  
陳情から6年かかった。こっちは比較的早くできると思いますけれどもトンネルを  
造ってとなると時間がかかる。その間、横手にいっぱい従業員が来ますので、人口  
が相当増えると思います。トンネルを掘ったり、大手の企業がいっぱい来ると思い  
ます。ということで、一時は人口が非常に増えると。あとは工業団地に工場を造れ  
ば。労働人口を多くすれば。産業を育てていかないと休みもとれない。いい会社が  
いっぱい来ないと休みも無理なんです。産休を取りなさいと言ってもとても無理。  
市役所などちょっと大きい会社だとなんとかかなりますけれども、代わりがないと  
いうか、代わりまで確保できない。現実問題です。私どもの会社でようやくそれが  
できるようになりました。

(事務局)

貴重な話題ありがとうございました。他によろしいでしょうか。

本日につきましては答申書案までご協議いただきましたので、全体が集まったの  
会議はこれでひとまず終了という形になります。会長にはこの後、市長に対して答  
申書の手交をお願いしたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたしま

### 第3回横手市総合計画審議会会議録

す。閉会の前に総務企画部長よりご挨拶をさせていただきたいと存じます。

#### (総務企画部長)

委員の皆様、本日はご苦勞様でした。また、3回にわたりまして夜の貴重な時間にここにお出でいただいて、毎回しっかりとした協議をいただいて非常に感謝申し上げます。今回をもちまして総合計画、それから総合戦略、両方ともしっかりとした計画が出来上がったものと思っております。ただ、さきほどの協議の中にもありましたとおり、計画が計画として飾っておかれるようなものではやはりだめだと思いますので、我々の方もきちんと実行していくこと、それから社会情勢の変化に合わせて内容を場面、場面で切り替えながら、これで固まって、これをやることを目標ではなくて、これをベースに世の中に合わせていくということで進めさせていただきたいというふうに思います。皆さんにご協議いただいた内容をきちっと受け止めて来年度から進めてまいりたいと思っておりますので、ぜひともよろしく願いいたします。また、このメンバー非常にありがたいメンバーでございますので、何かこの手の計画がありました際にはご協力をお願いするかもしれません。その際にはよろしく願いしたいというふうに思います。本日は、またこの3回にわたりご協力いただきましてありがとうございました。

#### (事務局)

以上をもちまして第3回横手市総合計画審議会を閉会いたします。本日もお忙しいところ大変ありがとうございました。

#### 5. 閉会 (19:37)